

JCAA

JAPAN CLINICAL ART ASSOCIATION

臨床美術 News

Vol. 55

2019 SPRING

学会大会報告

臨床美術学会 第10回大会

[基調講演]

「臨床」とものがたり

[シンポジウム]

<ものがたり>の場の創出と臨床美術

分科会・ポスターセッション・懇親会

専門家インタビュー

臨床美術士を訪ねて

イベントレポート

登録団体紹介

- 臨床美術 京の会
- せとうみ臨床美術の会

協会からのお知らせ



アートプログラム:「かり・こり・せっこう」



特定非営利活動法人
日本臨床美術協会

臨床美術学会 第10回大会

大会テーマ 臨床の美術とくものがたり

会場：富山福祉短期大学

期日：2018年10月6日(土)、7日(日)

学会大会の節目ともいえる第10回大会は、富山福祉短期大学の元学長である北澤晃氏を大会長として、富山県射水市の富山福祉短期大学で開催されました。



基調講演

「臨床」とものがたり

ものがたり診療所所長 佐藤伸彦

医師であり、地域医療と終末期医療に積極的に取り組んでいる佐藤伸彦氏が「臨床」とものがたりをテーマに基調講演を行いました。

医師として救命救急を担当し、生命体としての「命」の他に、人がこれまでの人生の中で紡いできたものがたり、すなわち「いのち」があり、その時々に応じて「命」と「いのち」のバランスをとることが大事であることに気づきました。

ものがたりとは、ある事柄とある事柄を結びつけて意味づけをする「意味の生成装置」であり、人間は、自分が紡ぎ出したものがたりを基に自分自身を理解します。



人が自身をものがたるには、人が他者と関係性を持つときの態度、姿勢がとても重要で、「ものがたる」には双方向性の「場」「空間」が必要です。双方向性の場や空間を生み出すには、臨床美術士個人の生き方や感性、度量を磨くことが大切だと思っています。

シンポジウム

<ものがたり>の場の創出と臨床美術



5人のシンポジストが登壇し、研究成果や活動内容について発表を行い最後に会場からの質問に答えました。

武部正樹氏は、「介護予防事業における臨床美術講座の実践」のテーマで、地域包括支援センターを中心に臨床美術プログラムを実践している高岡市の事例を紹介。新富アートクラブ代表の鷺北裕子さんは、お母様の玲子さんと共に登壇し「住み慣れた町でいきいき暮らす～臨床美術の実践～」をテーマに、地域の中で臨床美術教室が果たしている役割について熱く語りました。

また、上野の森クリニック院長の渡辺克雄氏は「精神科クリニック待合室での美術について」というテーマのもと、臨床美術が森田療法と親和性が高いことを解説。患者さんのストレス軽減などのために、待合室を使って臨床美術教室を行っている様子を紹介しました。最後に登壇した富山福祉短期大学助教の岡野宏宣氏のテーマは、「保育現場における<ものがたり>を紡ぐ場の創出」。公募提案型市民共同事業として、保育園を対象に臨床美術教室を開催した射水市の事例について発表しました。



分科会

「様々な領域における臨床美術のものがたり」

本大会では、情報共有型分科会として 3つのテーマを設けた各分科会にて、話題提供と参加者間のディスカッションを行いました。



第1分科会

子どもの表現世界と臨床美術

近年の関心テーマである子どもに対する実践を取り上げ、話題提供として、児童養護施設に入所する子どもたちとの「非日常体験として効果を期待される」臨床美術実践についての報告（松岡氏）と、幼稚園での子どもたちとの実践より「臨床美術における子どもの〈こと〉性の成り立ち」（渡邊氏）という観点でお話いただきました。

第2分科会

障がい者に対して臨床美術が為せること

これまで要望も多かった障がい者を対象とした臨床美術の課題についてディスカッションを深めました。木村クリニックでの様々な方とのセッションについて報告（須藤氏）があり、一人ひとりの状況に合わせて対応しながらも、それぞれの表現力の素晴らしさを認め合うことを大切にする臨床美術の原点を再確認しました。

第3分科会

高齢者現場に広がる様々な自己表現のものがたり

超高齢者社会の中、病院・デイサービス等での実践（津田氏）から、長寿者でも、人生を楽しみ、ポジティブに生きるきっかけを臨床美術が与えられることや、地域に根ざしたサロンでの実践事例（角氏）から、〈こと〉性を大切にすることが、関わりを深め「ものがたり」を紡ぐセッションとなることなど話題提供をいただきました。

ポスターセッション

昨年に続いて、研究発表はポスターセッション形式で実施され、18件の発表となりました。多岐にわたる報告・発表がそれぞれの創意工夫でポスターに視覚化され、熱気のあるディスカッションが展開されました。アンケートからは「もっと時間が欲しい」との要望も多数ありました。



懇親会

1日目の行程終了後は会場を移し、登録団体「とやま臨床美術の会」の企画、富山福祉短期大学のご協力により、懇親会が開かれました。

郷土芸能「おわら風の盆」も紹介され、和やかで楽しい時間となりました。



臨床美術の視点に基づいた乳幼児教育を
スタンダードにしたいと考えています。

臨床美術士を常勤・非常勤スタッフとして

採用している「りとるぱんぷきんず」。

統括園長の大江さんに乳幼児教育の考え方を
お聞きしました。



社会福祉法人
清香会
常務理事兼統括園長

大江 恵子 氏

乳幼児期の子どもは、自立に向けて成長しています。私たちは、子どもたちが秘めている無限の可能性を信じ、1人ひとりの自立を助けていく援助者でありたいと考えています。

乳幼児期は発達の手がかりが異なるので、各人の発達欲求をしっかりと見据えながら、子どもたち自身が個の成長を育んでいける環境を提供することが大切です。その一方、社会性は集団保育の中で育まれます。個の成長と社会性の獲得、この2つをバランスよく促すよう展開しています。

私たちの園では、4年前から臨床美術士を常勤・非常勤スタッフとして採用し、各園に配属。東京家政大学の保坂先生、臨床美術士、保育士がチームを組み、乳幼児向けプログラム「あるて」（臨床美術の視点を取り入れたオリジナルカリキュラム）を制作・実践しています。「あるて」では五感で感じたことを表現します。内面から出てくるものを自分の形として成していくことは、自分自身をわかることにつながり、まさに「個」の成長を促すものだと思います。鑑賞会では自分が表現したかったことや、「ここが素晴らしい」とお互いを認め合い感じ合いますが、表現したこと感じたことを皆で分かち合うのは、人と人との関係性（社会性）を培う機会になると考えています。

乳幼児教育では「何を」提供する以上に、「だれが」提供するかが重要です。信頼できる人の言葉でなければ、子どもたちは受け入れてくれません。臨床美術士をスタッフとして採用し日々の保育現場で子どもたちと関わってもらっているのは、そのためです。

子どもたちの反応など現場の声をフィードバックさせながら「あるて」をブラッシュアップして、いずれは乳幼児教育の表現活動におけるスタンダードにしていきたい。それくらいの意気込みで取り組んでいます。



デイサービススタッフの要請で、活動拠点が7ヵ所に増加



社会福祉法人 奉優会
高円寺北ふれあいの家
臨床美術士3級
矢代 佳江 さん



杉並区役所での作品展

勤めている杉並区のデイサービスで、月1回、臨床美術教室を開いています。当初は参加者が5～6人でしたが、現在は40名ほどに増えています。

都内に系列の施設が複数あり、所属長や介護職員の異動によって別の施設からも「臨床美術をやって欲しい」とオファーをいただくようになり、現在は7ヵ所で講師を務めています。最近では、どこかのデイサービスも特徴を出さないと高齢者の方に来ていただけないという危機感をもっているため、臨床美術の本質をきちんと説明することができれば、興味を持ってもらえる可能性が高いと感じています。

臨床美術紹介のために杉並区主催のアートプロジェクトに参加した作品展をきっかけに区の担当者から声をかけていただき、今回、区役所内で作品展を開くことになりました。将来的には、行政や女子美大などとコラボした活動ができないかと考えています。

造り酒屋の販売ショールームで、臨床美術教室を開講



脳が目ざめるアート塾
「アトリエりん」主宰
臨床美術士3級
中村 かよ さん



臨床美術の教室をどこで開けばいいか悩んでいた時、主人が「お店でやってみたら」と勧められました。そこで、営んでいる造り酒屋の店頭販売ショールームの1/3をアートスペースにして、「アトリエりん」をスタートさせました。

お店と教室を完全に仕切るのではなく、お店に来たお客様にも教室の様子が見えるようにしています。レジの側に作品を飾っているのですが、「どこで教えてるの?」と、そのまま入会してくださった方もいらっしゃいます。

ショールームのガラスには「脳が目ざめるアート塾」の看板を掲げています。「造り酒屋でアート?」と興味を持っていただけるようですね。私のアート塾では、制作と鑑賞会の合間に「お茶の時間」を設けるなどリラックスした雰囲気が特徴です。このまま自然体で活動を広げていけたらと思っています。

●「臨床美術 活動施設」のご案内

臨床美術の広がりを訴求し社会的な認知度をあげることを目的として、継続的に臨床美術の活動を行っている施設等を「臨床美術 活動施設」と位置づけ、協会ホームページ等でご紹介しています。会員の皆様には現在実施している施設等にお声がけ頂き、申請して頂くようご協力をお願い致します。

http://www.arttherapy.gr.jp/about_therapy/map/

●「脳が目ざめるアート塾」

協会では、臨床美術士4級以上の方々を対象にした支援として、個人で臨床美術の教室として看板を掲示し、開講、開設を希望される方に対し、協会認定の臨床美術教室「脳が目ざめるアート塾」の看板と講師認定証を提供しています。

臨床美術士ハンドブック P.24～28参照

※詳しくは協会ホームページ または協会事務局までお問い合わせください。

臨床美術が エビデンス認定 されました

臨床美術が臨床美術療法として日本認知症予防学会よりエビデンスの認定を受けることが出来ました。

詳細は日本認知症予防学会ホームページをご覧ください。

<http://ninchishou.jp/>

審査結果

グレードC：臨床美術療法は、認知症患者の知的機能を改善する可能性が有る。

グレードB：臨床美術療法は、認知症患者の情動障害（BPSD）の改善効果が認められる。

ボランティア活動レポート

岡山避難者支援活動報告

昨年の西日本豪雨は死者200人を超える甚大な自然災害となりました。とりわけ大きな被害を受けた倉敷市真備町で医療活動をしていたドクターから「子どもの心のケアを臨床美術で」と協力依頼を受け、兵庫、香川、岡山から集まったメンバーで「臨床美術 まびの会」を結成。しかし、活動を始めるにあたり2つの懸案がありました。一つ目は活動資金です。大急ぎで岡山県「ももたろう基金」に助成を申請。一部を給付していただきました（現在クラウドファンディングの利用も計画中）。もう一つの懸案は「トラウマとPTSD」の問題です。トラウマを抱えた子どもたちと正しく関わるため、勉強会を持ち、最低限の共通理解を持ちました。さらに、アートがリマインダーになりPTSDを発症した場合に備え、倉敷の医療チーム「くらら」の先生方が連携をしてくださることになりました。現在、子育て支援センター、高齢者施設など

から次々と声をかけていただき、年末まで活動を継続させる予定です。皆様のご支援、ご協力をいただけましたら幸いです。

「臨床美術 まびの会」 辻 香乃 記

クラウドファンディング受付中 ※4/24 まで

<http://readyfor.jp/project/clinicalart-mabinokai>

連絡先：丸山裕子 E-mail：maruhiro9_6@softbank.ne.jp



新登録団体紹介

臨床美術 京の会

京都市内にある障がい者施設や高齢者のデイサービスの講座、認知症予防講座（自治体のまちづくり活動支援交付金事業）などの活動を通して臨床美術士が集い、昨年「臨床美術京の会」を立ち上げました。定期的な講座や作品展の開催、幅広い世代を対象にした体験会の実施など回を重ねることによって、臨床美術が地域に親しまれ広がっていることを実感しています。今後も会員どうしの交流や連携を大切にしながら学んでいきたいと思っています。



連絡先

代表：中川明廣

住所：〒606-8302 京都府京都市左京区吉田牛ノ宮町14

TEL：090-3260-6113

FAX：075-701-6388

E-mail：nakagawa@kud.biglobe.ne.jp

せとうみ臨床美術の会

中国四国での講座、研修会開催の思いからスタートし、昨秋に登録。瀬戸内海に面する各県の臨床美術士が共に学び助け合いながら臨床美術を広め地方復興を目指しています。2019年は瀬戸内国際芸術祭の一年、瀬戸芸は特別なイベント。この期間、この場所でアート活動を計画。また、昨年の西日本豪雨災害で強く心を揺さぶられたことから支援活動も会の大きなテーマです。



連絡先

代表：岡崎壽子

住所：〒700-0817 岡山県岡山市北区弓之町10-24

TEL：090-7127-2878

E-mail：a.mole.italy@gmail.com

Mobile：a_mole.italy@docomo.ne.jp

協会からのお知らせ

2019年度 定期総会のお知らせ

2019年度も下記の通り、定期総会を開催いたします。

- **日時**：2019年5月26日(日)15:45～17:00
- **会場**：御茶ノ水OCCビル7階A教室(千代田区神田駿河台2-1)
JR「御茶ノ水駅」より徒歩3分
東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水駅」より徒歩5分
東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」より徒歩6分
- **議案**：(1) 2018年度の事業報告と決算報告について
(2) 2019年度の事業計画と予算報告について
(3) その他
- **参加申し込み方法**：
同封しております「定期総会出欠はがき」に出欠を明記し、ご署名ご捺印の上、5月10日(金)までにご返送をお願いいたします。尚、欠席の場合も委任状となりますので、ご署名ご捺印の上、必ずご返送をお願いいたします。

2019年度会員証について

2019年2月27日(水)までに「口座自動引き落とし」または「コンビニエンスストア振替用紙」にてお支払い頂いた方に、2019年度会員証を同封させて頂いております。会員証の有効期限は、2019年4月1日～2020年3月31日です。

会員証の確認と取扱いについて

- ① ご自身の会員証の記載内容(お名前・認定級・会員番号・次回資格更新日)について、相違がないかご確認ください。
- ② 「会員証」はストラップケースに入れ、臨床美術を実施される際、交流会・研修会等に参加する際には、認定バッジと共に必ず着用してください。
- ③ 紛失等による会員証の再発行には手数料500円(税別)、送料がかかります。

2019年度年会費のお支払いがお済みでない方

現時点で年会費をお支払いされていない方は右記までお早めにお振込みください。

年会費が未納の場合、臨床美術士の名称を名乗れなくなり、協会会員の特典が受けられなくなります。

2019年度年会費

10,800円(税込)

特定の「振り込み用紙」はございませんので、ATMもしくは窓口にてお支払ください。

- **郵便局からの場合**
郵便振替口座 00150-4-740354
- **他金融機関からの場合**
ゆうちょ銀行
〇一九(ゼロイチキュウ)店(019)
当座 0740354
特定非営利活動法人 日本臨床美術協会
*通信欄に「氏名」「会員番号」をご記入ください。

2019年度研修会について

協会主催の研修会につきましては、同封しております研修会冊子にてご確認ください。

重要なお知らせ

日本臨床美術協会事務局 電話番号変更のご案内

2019年1月1日より日本臨床美術協会事務局の電話番号が下記に変更となりました。お手数をおかけいたしますが電話番号のお控えなど、ご訂正くださいますようお願い申し上げます。

新電話番号：050-6865-3701 (旧電話番号：050-3735-2028)

※他、郵送先住所等に変更はございません。

指定校からのお知らせ

東北福祉大学 社会貢献・地域連携センター 予防福祉健康増進推進室

臨床美術士養成講座(仙台校) 5級取得コース

※5日間・全18コマ/9:30～16:50(15:30終了の回あり)

2019年

5月期	5/26(日) 6/2(日) 6/9(日) 6/16(日) 6/23(日)	申込締切日:5/14(火)
7月期	7/27(土) 8/3(土) 8/10(土) 8/17(土) 8/24(土)	申込締切日:7/12(金)
11月期	11/24(日) 12/1(日) 12/8(日) 12/15(日) 12/22(日)	申込締切日:11/8(金)

4級取得コース※5級取得者対象のコースです。

※7日間・全27コマ/9:30～16:50(15:30終了の回あり)

2019年

5月期	5/25(土) 5/26(日) 6/8(土) 6/9(日) 6/23(日) 7/6(土) 7/7(日)	申込締切日:5/10(金)
-----	--	---------------

研修会

2019年

4/27(土)	午前:色鉛筆アートプログラム研修会No.9-16(5級以上) 午後:雨にも負けずオブジェ(4級以上)
5/25(土)	午前:CAD研修会【夏】(5級以上) 午後:紫キャベツの迷路(4級以上)
7/7(日)	午前:CAC研修会No.10-12(5級以上) 午後:おばあちゃんの畑のとうもろこし(4級以上)
9/8(日)	午前:フェリシモ プチ立体アートプログラム研修会No.1-8(5級以上) 午後:月夜の森(4級以上)

<申込窓口>

東北福祉大学 社会貢献・地域連携センター 予防福祉健康増進推進室
TEL:022-742-2886 FAX:022-742-2887
E-mail:wellcom-school@tfu-ac.net

女子美術大学

臨床美術士養成講座

5級取得コース

2019年

8月期	8/26(月) 8/27(火) 8/28(水) 8/31(土) 9/1(日)	申込締切日:8/9(金)
-----	---	--------------

<申込窓口>

女子美オープンカレッジセンター TEL:03-5340-4646

富山福祉短期大学

臨床美術士養成講座

5級取得コース

2019年

7月期	7/14(日) 7/28(日) 8/4(日) 8/18(日) 9/1(日) 予備日9/8(日)	申込締切日:6/28(金)
-----	--	---------------

4級取得コース

2019年

10月期	10/27(日) 11/3(日) 11/24(日) 12/1(日) 12/15(日) 12/22(日) 1/5(日) 予備日1/12(日)	申込締切日:10/11(金)
------	---	----------------

<申込窓口>

富山福祉短期大学 共創福祉センター TEL:0766-55-5567

ひろしま美術研究所

臨床美術士養成講座

5級取得コース

2019年

6月期	6/9(日) 6/16(日) 6/23(日) 6/30(日) 7/7(日)	申込締切日:5/27(月)
-----	--	---------------

2020年

1月期	1/19(日) 1/26(日) 2/2(日) 2/9(日) 2/16(日)	申込締切日:1/6(月)
-----	--	--------------

4級取得コース

2019年

9月期	9/22(日) 9/23(月・祝) 10/13(日) 10/14(月・祝) 10/27(日) 11/3(日) 11/4(月・祝)	申込締切日:9/9(月)
-----	--	--------------

<申込窓口>

ひろしま美術研究所 TEL:082-506-3060

芸術造形研究所からのお知らせ

臨床美術士養成講座

通学	5級 2019年6月期(京都クラス)	全5回	会場:京都	締切5/16(木)
	4級 2019年6月期(北海道クラス)	全7回	会場:北海道	締切5/23(木)
	4級 2019年6月期(鳥取クラス)	全7回	会場:鳥取	締切6/13(木)
	4級 2019年7月期(水曜日クラス or 土曜日クラス)	全9回	会場:東京	締切7/3(水)
	4級 2019年8月期(岡山クラス)	全7回	会場:岡山	締切7/18(木)
通信教育	5級 2019年6月期 6/2(日) スクーリング	1日間+5ヶ月	会場:沖縄	締切5/16(木)
	5級 2019年7月期 7/6(土) スクーリング	1日間+5ヶ月	会場:東京	締切6/13(木)
	4級 2019年5月期 5/11(土)・5/12(日) スクーリング	2日間+6ヶ月	会場:東京	締切4/18(木)
	4級 2019年8月期 8/24(土)・8/25(日) スクーリング	2日間+6ヶ月	会場:東京	締切8/1(木)

※ 東京校では上記講座の他、養成講座及び感性アートゼミ(通学or通信制)、など各種講座、研修会も開講します。

詳しくは芸術造形研究所のホームページでご確認いただくか、担当までお問い合わせください。

<申込窓口>

芸術造形研究所 TEL:03-5282-0210 E-mail:school@zoukei.co.jp

表紙掲載 アートプログラム紹介
「かり・こり・せつこう」

球体を削る行為や感覚を楽しみながら、アクリル絵の具で色彩表現した半球の石膏をスクラッチすることで、
下地の白が新たに生まれる表現を楽しみます。

アートプログラム販売中! お申込みはこちらから→<http://www.zoukei.co.jp/shop/artprogram/>



特定非営利活動法人
日本臨床美術協会

本誌掲載の記事・写真・イラストの無断転載および複写を禁じます。

[事務局]

〒251-0047 神奈川県藤沢市辻堂1-9-3 ShonanEminence 3階

TEL. 050-6865-3701 FAX. 050-3737-9007

E-mail: association@arttherapy.gr.jp <http://www.arttherapy.gr.jp>

臨床美術JCAA ニュース 第55号 2019年3月1日発行

発行/特定非営利活動法人 日本臨床美術協会